

“SO” の様々な使い方を覚えよう

“so” には副詞と接続詞としての意味がありますのでそれぞれ主なものを紹介します
まず、副詞(形容詞と動詞を説明する詞)としての “so”

★ とても

- Thank you so much. とても(本当に)ありがとう。
- I am so happy to see you. お会いできて本当に嬉しいです。

★ そんなに / それほど

- I cannot run so fast. それほど速くは走れません。
否定文では「そんなに」「それほど」の意味になります。
直訳すると「私はとても速く走れません」となりますが「まったく速く走れない」という意味ではありません。
ちなみにそう言いたい場合は“so”ではなく“at all”を最後に付けて・・・
I cannot run fast at all. 私はまったく速く走れません。

★ そう、そのように

- I think so. 私はそう思います。
- Why didn't you say so? なぜそう言わなかったの？
- I hope so too. 私もそう願っています。
上記のような “think/say/hope” 以外にも “so” を伴って使われる(他)動詞には
suppose/guess/expect/believeなどたくさんあります。

★ とても～なので … (so-that… 構文)

- I woke up so early this morning that I cleaned my room.
今朝はとても早起きしたので部屋の掃除をしました。
- Tom was so tired that he could not do his Japanese study.
トムはとても疲れていた所以日本語の勉強ができなかった。

次に、接続詞(文と文を接続する詞)としての “so”

★ だから / なので (結論を述べる時)

- I had a bad toothache yesterday, so I went to the dentist.
昨日、ひどく歯が痛んだので歯医者に行った

★ ところで / それでは (話題を変える時)

- So, that is all for today's class. それでは今日のレッスンはここまでです。
- Oh, it's 6pm now, let's finish. So, shall we go for a dinner?
おや、もう6時だ、やめよう。ところで食事に行かないか？

★ ～するように (目的を示す時)

- Please speak louder so I can hear you.
私が聞こえる様にもっと大きな声で話して下さい。

= 以上 =